

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 12 月 16 日

熊本地方裁判所民事第 1 部

裁判所書記官 吉 田 由美子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 1 月 6 日から 令和 8 年 1 月 13 日まで
開札期日	日 時 令和 8 年 1 月 19 日 午前 10 時 00 分 場 所 熊本地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 2 月 2 日 午後 3 時 00 分 場 所 熊本地方裁判所民事第 1 部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 （1）当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 （2）銀行、損害保険会社、株式会社商工組合中央金庫、農林中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限（民事執行規 則 33 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。

一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 12 月 16 日から当庁物件明細書等閲覧室（本館 2 階不動産競売係書記官室内）に備え置きます。



513

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	627, 200 501, 760	一括	125, 440	9, 393	0
1	396, 800				
2	230, 400				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-------------------------|
| 1 | 所 在 | 荒尾市川登字本谷 |
| | 地 番 | 2 1 3 1 番 3 0 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 5 6 . 3 5 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 荒尾市川登字本谷 2 1 3 1 番地 3 0 |
| | 家屋 番号 | 2 1 3 1 番 3 0 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造セメント瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 1 0 1 . 8 7 平方メートル |



民事執行規則第30条の3第1項による売却基準価額決定の経過表

物件番号	売却基準価額(円)	一括売却	前回からの 減価率(%)	決定年月日	備 考
1、2	980,000		—	R6.10.17	
1、2	784,000		20	R7.3.17	
1、2	627,200		20	R7.6.25	

物 件 明 細 書

令和 6 年 10 月 7 日

熊本地方裁判所民事第 1 部

裁判所書記官 梶 木 麻 子

-
- 1 不動産の表示
【物件番号 1, 2】
別紙物件目録記載のとおり
 - 2 売却により成立する法定地上権の概要
なし
 - 3 買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号 1, 2】
なし
 - 4 物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号 2】
本件所有者が占有している。
 - 5 その他買受けの参考となる事項
なし
-

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-------------------------|
| 1 | 所 在 | 荒尾市川登字本谷 |
| | 地 番 | 2 1 3 1 番 3 0 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 5 6 . 3 5 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 荒尾市川登字本谷 2 1 3 1 番地 3 0 |
| | 家屋 番号 | 2 1 3 1 番 3 0 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造セメント瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 1 0 1 . 8 7 平方メートル |



令和6年(ヌ)第18号
令和6年5月27日 受理
令和6年6月10日 提出

現 況 調 査 報 告 書



熊 本 地 方 裁 判 所

執 行 官 中 島 輝 明

(注) チェック項目中の調査結果は、「 ■ 」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-------------------------|
| 1 | 所 在 | 荒尾市川登字本谷 |
| | 地 番 | 2 1 3 1 番 3 0 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 5 6 . 3 5 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 荒尾市川登字本谷 2 1 3 1 番地 3 0 |
| | 家屋 番号 | 2 1 3 1 番 3 0 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造セメント瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 1 0 1 . 8 7 平方メートル |

不動産の表示		『物件目録』のとおり	
住居表示		(住居表示未実施)	
土地		物件 1	
現況地目	☒ 宅地(物件 1) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☐ 土地建物位置関係概略図のとおり ☒ 登記所備置地図のとおり		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が、本件土地上に下記建物を所有し、占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項	3枚目「その他の事項」のとおり		
建物		物件 2	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる(☐ 主である建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない 種類： ☐ ある 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件建物を住居として使用、占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項	3枚目「その他の事項」のとおり		
執行官保管の仮処分	☒ ない 地方裁判所 支部 平成 年()第 号 ☐ ある 保管開始日 平成 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係概略図のとおり		

そ の 他 の 事 項

■接面道路等

- 1 物件1の宅地は、西側が市道(緑ヶ丘本谷線)に接している。

■物件1土地

- 1 物件2の建物の敷地として利用されている。
- 2 隣接する土地は次のとおり(登記記録に基づき、地番、地目、地積、所有者の順に記載)
 - ① 2131番4、畑、8702㎡、私人名義
 - ② 2131番77、宅地、191.47㎡、私人名義
- 3 東側隣地との境界付近に擁壁が存するところ、その一部が損壊している。
- 4 西側に植栽されている樹木の一部が市道に越境していると思われる(写真1参照)。

■物件2建物

- 1 外観は写真1ないし5のとおりであり、内部の状況は写真6ないし17のとおりである。
- 2 洋室の天井に雨漏りによる染みが2カ所存し、そのうち1カ所は染みに加えて穴も存する(写真8参照)。また、縁側の天井にも雨漏りによる染みが存する(写真12参照)。
- 3 引き戸の開閉がスムーズでない箇所が複数存する。
- 4 上水道の接続はあるが下水道の接続はない。なお、トイレはくみ取り式である。
- 5 燃料はLPガスである。
- 6 従物等として、庇、下屋、太陽熱温水器、灯油ボイラー及び灯油タンクが存する(写真2～4参照)。
- 7 目的外動産として、南西側下屋内にアルミ製簡易物置が存する(写真2参照)。

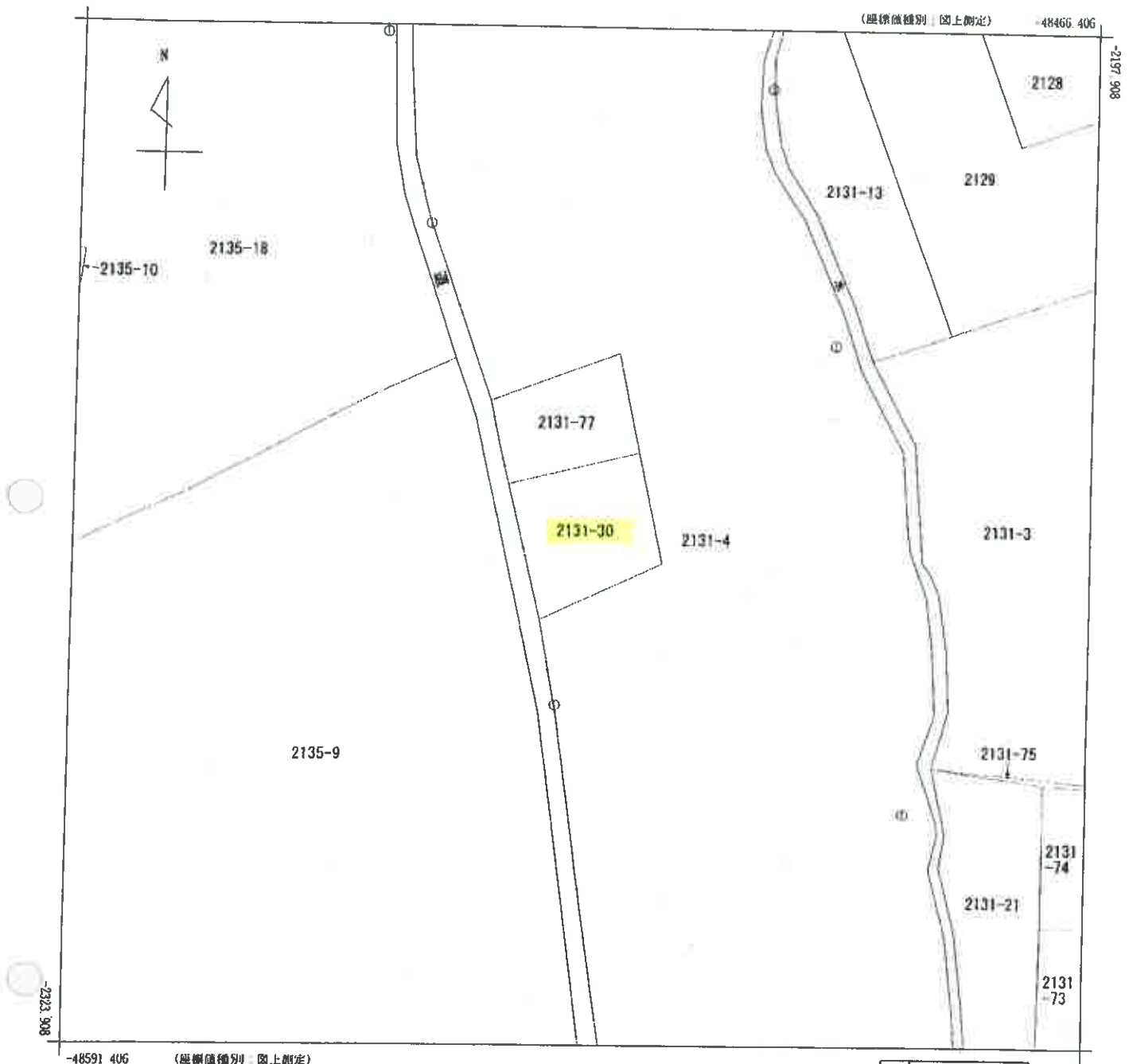
(関係人の陳述等用)

関 係 人 の 陳 述 等

陳 述 者 (当事者との関係)	陳 述 内 容 等
■ 債務者	1 私は、生まれた当時から本件建物に住んでいるが、現在は一人で住んでいる。2014年に母親が死亡するまでは母親と二人で住んでいた。 2 本件土地について、隣地との境界紛争はない。 3 本件土地と東側隣地との境界付近の擁壁は約20年前に築造されたものであるが、現在、その一部が損壊している。 4 本件建物について、昭和60年に増築した以降、増改築はしていない。 5 白蟻被害の有無はわからないが、具体的に被害を見たことはない。 6 本件建物の洋室と縁側の各天井の染みは雨漏り跡である。 7 本件建物内で犬や猫の飼育歴はない。 8 本件建物に傾きは生じていないと思う。 9 現在、太陽熱温水器は壊れているため使用不能であるが、灯油ボイラー及び灯油タンクは使用中である。 10 上水道の接続はあるが、下水道の接続はない。トイレはくみ取り式である。 11 燃料はLPガスである。

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
6 年 5 月 29 日 (水) 9 : 15 ~ 9 : 25	熊本地方法務局玉名支局	登記簿等交付請求
6 年 5 月 29 日 (水) 10 : 20 ~ 10 : 40	物件所在地	物件確認、立入調査日連絡書投函、外観写真撮影
6 年 5 月 29 日 (水) 11 : 00 ~ 11 : 10	荒尾市役所(土木課)	接道状況調査
6 年 5 月 29 日 (水) 11 : 15 ~ 11 : 25	荒尾市企業局	上下水道の接続状況調査
6 年 6 月 5 日 (水) 13 : 40 ~ 14 : 20	物件所在地	立入調査、債務者と面談、写真撮影
年 月 日 () : ~ :		
年 月 日 () : ~ :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して 臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

登記所備置地図（A3判をA4判に縮小）



(注) 国土交通省国土地理院による座標補正パラメータ(kumamoto2016_bl.par)が未公表等の理由により、修正がされていません。

地番区域見出し
川登

請求部	所在	荒尾市川登字本谷				地番	2131番30			
出力尺	1/500	精度区分	乙一	座標系番号又は記号	II	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	昭和46年2月				備付年月日(原図)			補記事項		

図 測量所 在 地 積 土 地

地 番	(A)2131-30 (B)2131-77
土地の所在	荒尾市川澄字本谷

測量報告書番号 15-050 測量日 平成27年7月22日

測量求積表

地 番	N	O	順	X	Y	辺 長	測 線
(A) 2131-30	()	-2250	832	-48522	376	16.608	289 - 300
-30 300	()	-2254	870	-48538	487	17.210	300 - 82
82	()	-2271	270	-48534	330	16.543	82 - 287
287	()	-2264	288	-48510	347	14.054	287 - 288
倍面積					512.711764	㎡	
面積					256.3558820	㎡	288.35
坪数					77.648		

地 番	N	O	順	X	Y	辺 長	測 線
(B) 2131-77	()	-2250	832	-48522	376	12.432	289 - 288
-77 288	()	-2258	382	-48525	055	16.813	288 - 83
83	()	-2244	380	-48540	880	5.075	83 - 87
87	()	-2248	800	-48530	650	4.812	87 - 300
300	()	-2254	870	-48538	487	16.608	300 - 289
倍面積					382.858936	㎡	
面積					191.4294680	㎡	181.47
坪数					57.823		

小 計 447.8553800

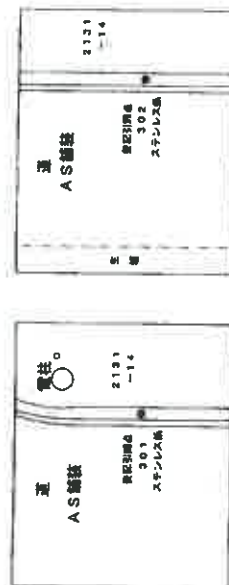
公式 $2F = \sum X_i(Y_{i-1} - Y_{i+1})$ だし、 $2F = \text{倍面積}$

(世界測地系 座標系)

点 名	座 標 系 に 使 用 し た 点 X	点 Y
VE11-17-4 (国土院測点)	-2236.983	-48498.550
VZ11-17-2 (国土院測点)	-2393.663	-48518.882

(座標系 TKY2JGD Ver. 1.3.80)

引 取 点 所 在 場 所



作 製 者

平成27年7月22日作成

申 請 人

縮尺 250

登記年月日 平成27年7月30日

地番 (A)2131-30
(B)2131-77

土地の所在 京尾市川路字本谷

土地積測量図

2/2

302	X	-2241.081	Y	-48841.801		
301	X	-2214.740	Y	-48850.232		
面積	面積	実高	距離	備考		
302		299	132-48-12	21.411	プラスチック板	(排水機能)
		300	120-38-30	13.910	プラスチック板	(排水機能)
		82	183-92-12	31.116	ステンレス板	(排水機能)
		297	123-41-28	32.280	プラスチック板	(排水機能)
		298	98-42-18	18.907	プラスチック板	(排水機能)
		83	182-08-48	2.486	ステンレス板	(排水機能)
		87	184-05-02	0.097	ステンレス板	(排水機能)

作製者

申請人

27年 7 月 22日作製

縮尺

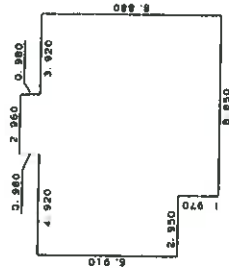
登記年月日：平成27年7月30日

公用

各 階 平 面 図

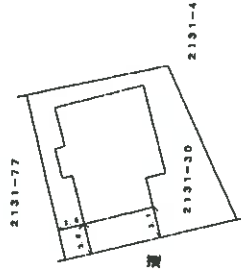
建 物 図 面 図
各 階 平 面 図

家屋番号	2131番30
建物の所在	京尾市川道字本谷2131番30



求 積 表

1	2,960 × 0,980	=	2,900.800
2	11,800 × 6,910	=	81,538.000
3	6,850 × 1,970	=	17,434.500
合 計			101,873.300
		床面積	101.87㎡



作 製 者
土 地 測 量 士
宮 島 浩 一

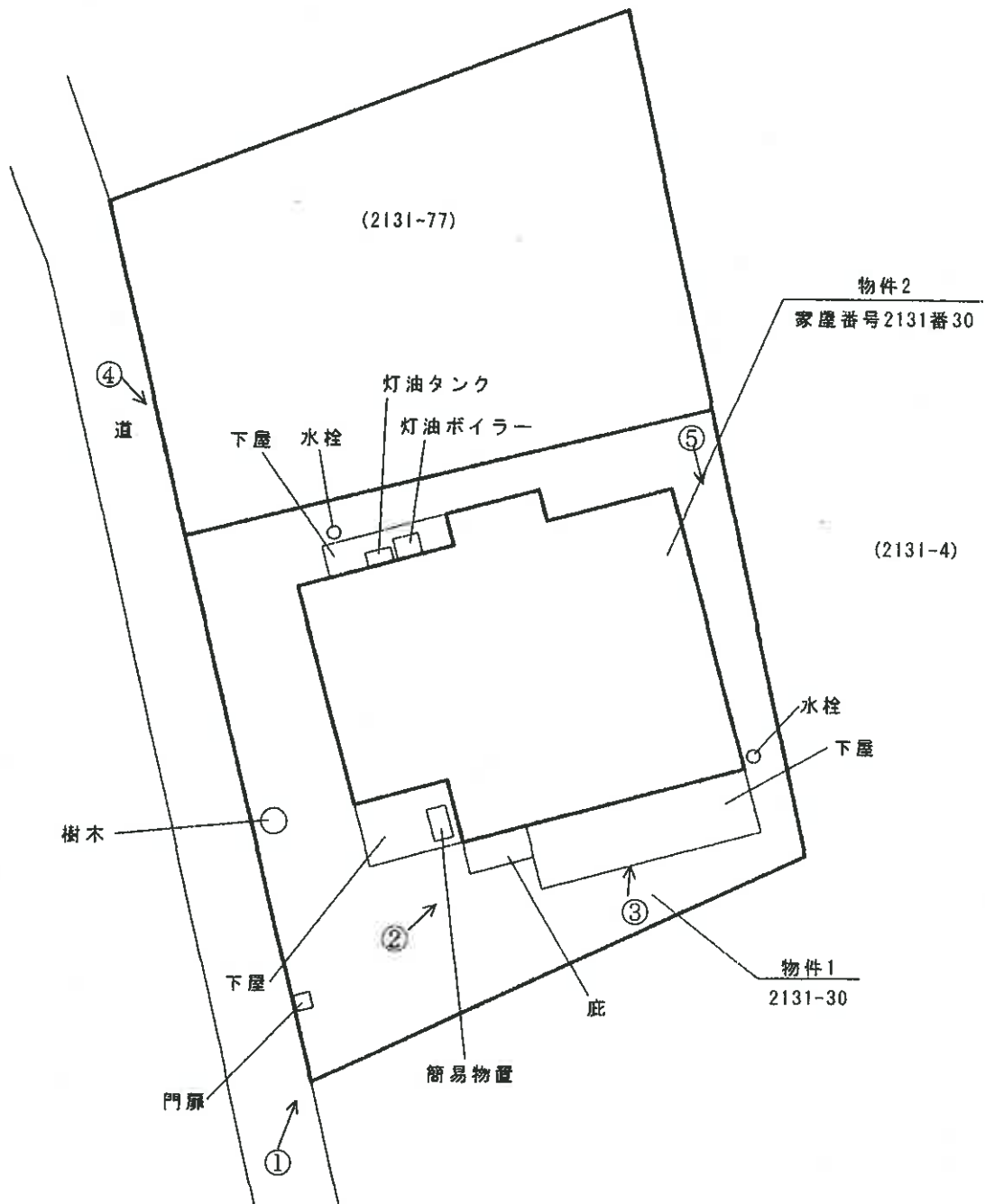
縮 尺
1 / 250
7 年 7 月 17 日 (印)

縮 尺
1 / 500

令和6年(又)第18号
土地建物位置関係概略図(物件1～物件2)

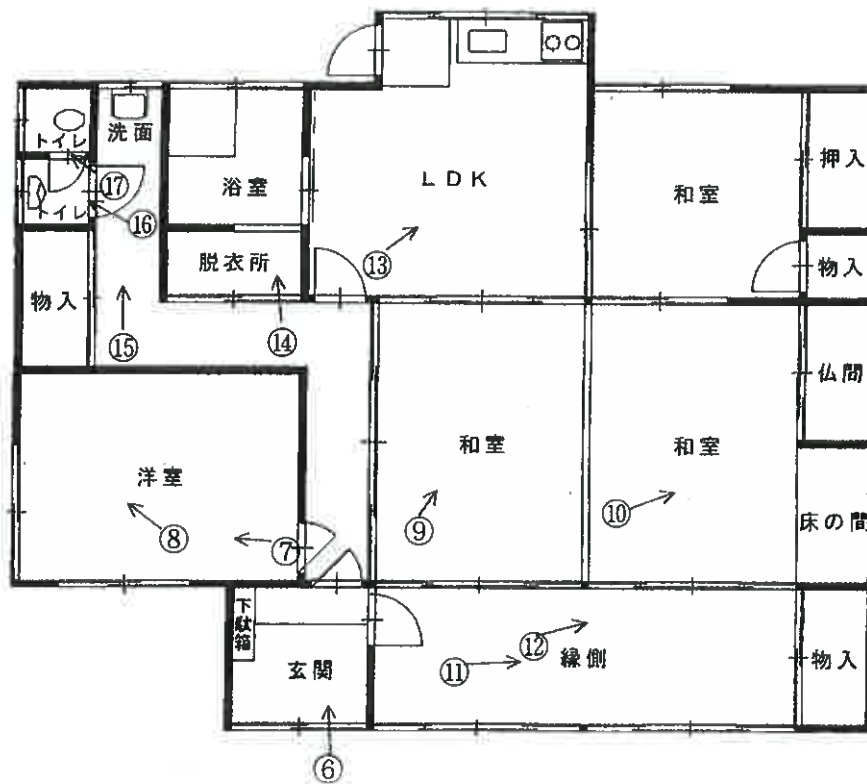


○→ は写真撮影方向(間取図も同じ)





令和6年(又)第18号
間取図(物件2)



(写真1) 市道 物件1 物件2



(写真2) 太陽熱温水器 下屋 アルミ製簡易物置 物件2 庇 下屋



(写真3) 物件2 下屋



(写真4) 2131-77 (土地) 物件2 下屋 灯油ボイラー 同タンク



(写真5) 物件2



(写真6)



(写真7)



(写真8)



(写真9)



(写真10)



(写真11)



(写真12)

染み



(写真13)



(写真14)



(写真15)



(写真16)



(写真17)



令和 6 年 (又) 第 18 号
令和 6 年 6 月 5 日 現地調査
令和 6 年 6 月 12 日 評 価
(発行番号 80067 号)

熊本地方裁判所 御中

評 価 書



評価人 不動産鑑定士

村坂 亮

第1 評価額

一括価格	
金 980,000 円	
内訳価格	
物件1 (土地)	金 620,000 円
物件2 (建物)	金 360,000 円

- 1 一括価格は、物件1～2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は土地利用権等付建物としての価格である。
- 4 従物等は土地（建物）の評価額に含めた。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	荒尾市川登字本谷 2131番30 宅地 256.35平方メートル	同左
2	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	荒尾市川登字本谷2131番地30 2131番30 居宅 木造セメント瓦葺平家建 101.87平方メートル	同左
番号	特 記 事 項		
	特になし		

— 以下余白 —

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	JR鹿児島本線「南荒尾」駅の北東方・道路距離約5.9km 最寄バス停「新道閑橋」の北西方・道路距離約350m（徒歩約5分）	
付 近 の 状 況	農地が広がるなか、一般住宅、農家住宅が点在する住宅地域。	
主な公法上の規制等 （道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	都市計画区域内（非線引） 無指定 60% 200% — 特定用途制限地域（住宅・共同住宅は建築可）
画 地 条 件	間口約17.5m、奥行約16.5m、規模256.35㎡のほぼ台形地である。	
接 面 道 路 の 状 況	南西側において、幅員約2.5mの舗装市道（市道名：緑ヶ丘本谷線）に概ね等高に接面している。当該道路は建築基準法第42条第2項に規定される道路であり（平成21年度に道路判定済。県北広域本部土木部景観建築課への聴取に基づく）、建物再築時等においては、セットバックが必要となる（中心後退。概測に拠ると、土地全体の地積のうち約5%がセットバック対象となる）。なお、中間画地である。	
土 地 の 利 用 状 況 等	占有状況等については現況調査報告書のとおりである。 主として物件2の敷地として利用されている。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 あり ガ ス 配 管 なし（プロパンガス） 下 水 道 なし（特記事項②） （注）供給処理施設における「あり」「なし」とは、敷地内への引込みの有無をいう。	
特 記 事 項	①周知の埋蔵文化財包蔵地には該当していない（荒尾市観光文化交流課への聴取に基づく）。 ②トイレは汲み取り式である。なお、合併浄化槽を設置する場合、荒尾市が設置費用の一部を補助する制度が存する（5人槽332,000円、7人槽414,000円等。詳細は荒尾市環境保全課へ確認のこと）。 ③東側隣接地との境界に設置されている擁壁が一部瓦解している。 ④西側について、樹木の一部が市道に越境しているものと思料される。	

2 建物の概況及び利用状況等（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的 残存耐用年数	建築年月日（登記記載）：新築年月日不詳 経過年数：不詳 経済的残存耐用年数：満了しているものと判断した。
仕 様	構造：木造 屋根：セメント瓦等 外壁：板張等 内壁：クロス等 天井：クロス等 床：フローリング、畳等 設備：電気、給排水衛生設備等
床面積（現況）	101.87平方メートル 『第3 目的物件』記載のとおり
現況用途等	現況用途：居宅 間取り：間取図（物件2）のとおり
品 等	普通
保守管理の状況	下記諸点を除き、経年相応の状態であると判断される。 ・洋室の天井に雨漏りによる染み、穴が存する。また、縁側の天井にも雨漏りによる染みが存する。 ・扉の開閉がスムーズでない箇所が多数存する。
建物の利用状況	占有者及び占有状況は現況調査報告書のとおりである。
特 記 事 項	①目的外動産としてアルミ製簡易物置が設置されている（詳細は現況調査報告書記載のとおり）。 ②昭和60年（月日不詳）に増築がなされている。 ③従物等として、庇、下屋、太陽熱温水器（故障中）、灯油ボイラー及び灯油タンクが存する。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格（円） ア×イ×ウ×エ
1	7,700	0.83	256.35	0.90	1,474,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価調査地（荒尾（県）－5）

公示価格等

時点修正

標準化補正

地域格差

標準画地価格

$$12,200 \text{ 円/㎡} \times \frac{100}{100} \times \frac{100}{100} \times \frac{100}{158} = 7,700 \text{ 円/㎡}$$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：なし

◇地域格差： 街路条件（幅員、系統等） +5%

環境条件（居住環境等） +50%

※地域格差率 = $1.05 \times 1.50 = 1.58$

イ 個別格差： 画地条件（方位等） +2%

画地条件（形状等） ▲5%

画地条件（セットバック等） ▲5%

画地条件（擁壁瓦解等） ▲10%

※個別格差率 = $1.02 \times 0.95 \times 0.95 \times 0.90 = 0.83$

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考量した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ
2	130,000	101.87	0.02	265,000

ウ 現価率：下記のとおり査定。

経過年数等より経済的耐用年数は満了しているものと判断されるため、建物価格については残価率2%程度の価値のみと判断した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記の通り評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件2の土地利用権が及ぶ範囲を物件1と認定し、土地利用権等価格を下記のとおり査定した。

番号	建付地価格（円） ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格（円） ア×イ
1	1,474,000	0.25	法定地上権	369,000

ア 建付地価格：前記1（1）で求めた建付地価格を採用した。

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を25%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格（円） ア	土地利用権等価格の控除及び加算（円） イ	占有減価修正 ウ	市場性修正 エ	競売市場修正 オ	評価額（円） (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	1,474,000	-369,000		0.7	0.8	620,000
2	265,000	369,000		0.7	0.8	360,000
一括価格（合計）						980,000

ウ 占有減価修正：必要なしと判断した。

エ 市場性修正：市場性が減退する程度のほか、その他物件に内在するリスク等を総合的に勘案し判断した。

オ 競売市場修正：競売市場の特殊性等を考量し判断した。

第6 参考価格資料

地価調査価格 (荒尾(県) - 5)

所 在 : 荒尾市平山字西浦1930番1

価 格 : 12,200円/㎡

位 置 : JR鹿児島本線「荒尾」駅の南東約7.0km

価 格 時 点 : 令和5年7月1日

地 積 : 765㎡

供給処理施設 : 水道

接 面 街 路 : 北東6m市道

用途指定等 : 都市計画区域内(非線引)

建蔽率60%/容積率200%

地 域 の 概 要 : 一般住宅、農家住宅、農地等が混在する住宅地域

第7 付属資料

1	位置図	1	葉
2	法務局備付地図写	1	葉
3	建物図面・各階平面図写	1	葉
4	土地建物位置関係概略図(物件1～物件2)	1	葉
5	間取図(物件2)	1	葉
6	現況写真	3	葉

以 上

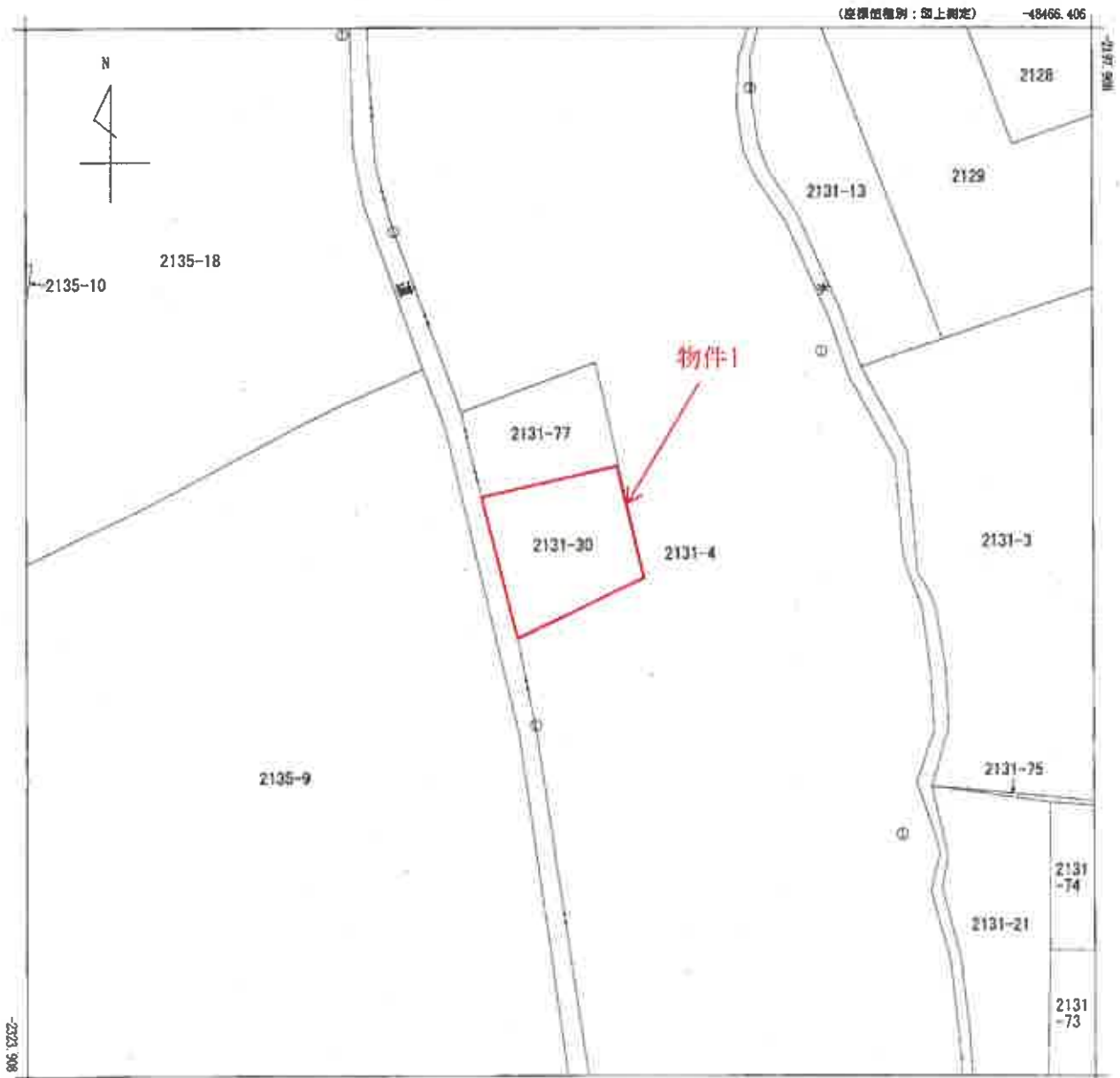
位置図



1:10,000 荒尾市 白図 写し

【原本をA4サイズに縮小しています】

法 務 局 備 付 地 図 写



-48591.406 (座標値補正: 図上測定)
 (注) 国土交通省国土地理院による座標補正パラメータ(kusaso2016_BJ.par)が未公表等の理由により、修正がされていません。

地番区域見出
 川登

請求部	所在	荒尾市川登字本谷				地番	2131番30			
出力縮尺	1/500	精度区分	乙	座標系番号又は記号	II	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	昭和46年2月				備付年月日(原図)			補記事項		

請求番号: 2-1

(1/1)

公用

建物図面・各階平面図写

[原本をA4サイズに縮小しています]

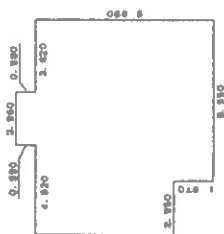
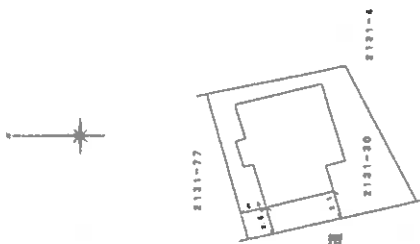
登記年月日：平成27年7月30日

公用

各階平面図
建物図面
各階平面図

家屋番号 2131番30

建物の所在 荒尾市川澄字本谷2131番30



求積表

1	2.960 X 0.980=	2.900800
2	11.800 X 6.910=	81.538000
3	8.880 X 1.970=	17.493600
合計		101.932400
床面積		101.87㎡

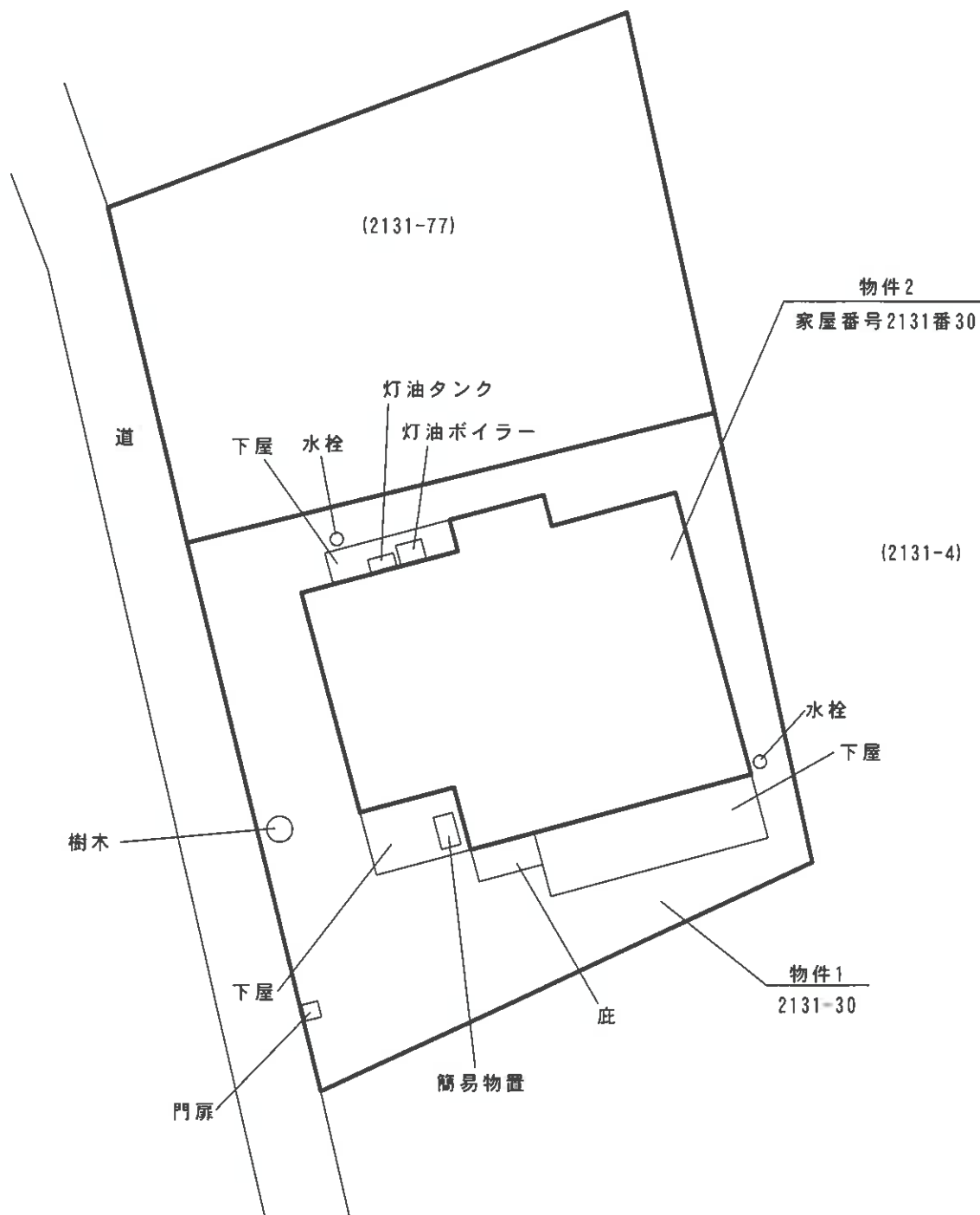
縮尺 1/500

申請人

縮尺 1/250

作製者

土地建物位置関係概略図（物件1～物件2）



間取図（物件 2）





南西方より対象不動産を望む



北西方より対象不動産を望む



物件2：外観



物件2：外観



物件2：内部



物件2：内部